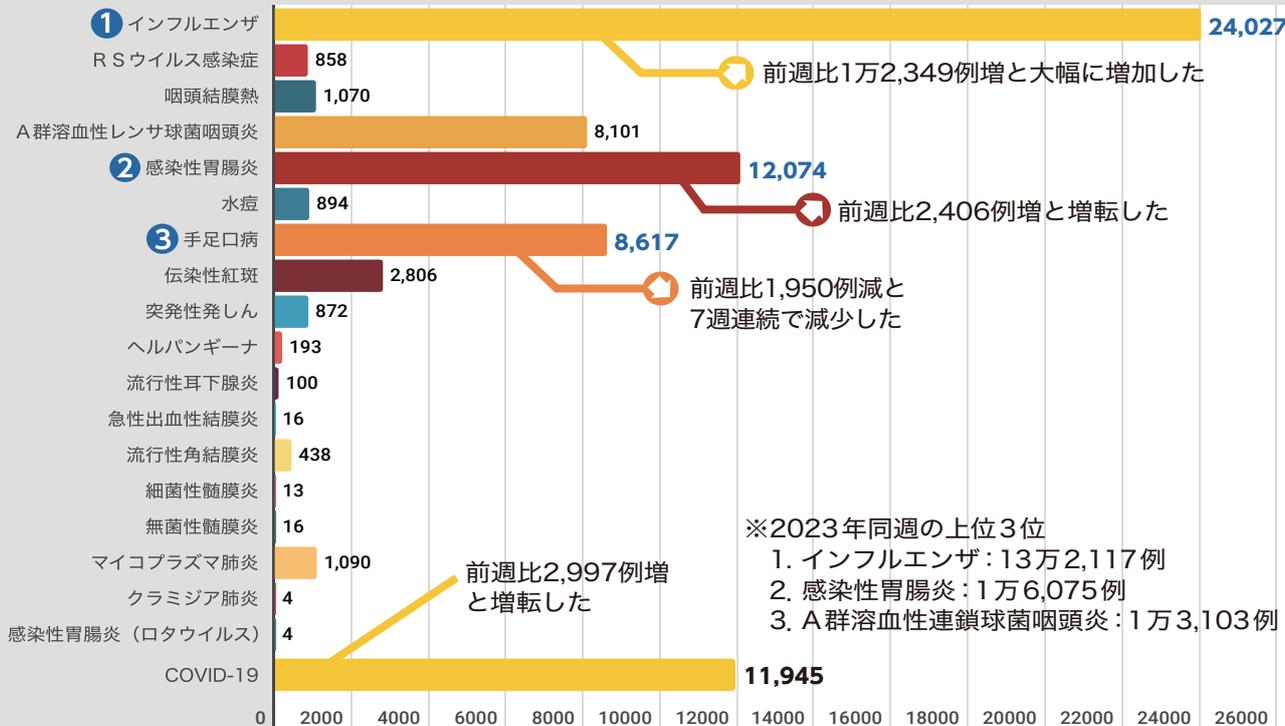




国立感染症研究所が発表する感染症発生動向調査週報「定点把握疾患(週報告)、累積報告数、定点当たり累積報告数、都道府県別」に基づいて、毎週の感染症報告動向をお届けする。

インフル2万例超え、コロナ1万例超えに

丸数字は上位3位 ※COVID-19は除く



※2023年同週の上位3位

1. インフルエンザ: 13万2,117例
2. 感染性胃腸炎: 1万6,075例
3. A群溶血性連鎖球菌咽頭炎: 1万3,103例

(国立感染症研究所のデータを基に編集部作成)

①インフルエンザ

報告数

1. 福岡県: 2,263例
2. 神奈川県: 2,010例
3. 東京都: 1,807例

定点当たりの報告数(4.86)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 福岡県: 11.43 | 4. 広島県: 7.01 | 7. 鳥取県: 6.45 | 10. 佐賀県: 5.74 |
| 2. 長野県: 9.07 | 5. 大分県: 6.91 | 8. 福島県: 6.39 | 11. 岐阜県: 5.54 |
| 3. 千葉県: 8.18 | 6. 山形県: 6.79 | 9. 三重県: 5.92 | 12. 埼玉県: 5.52 |

②感染性胃腸炎

報告数

1. 東京都: 1,186例
2. 大阪府: 845例
3. 神奈川県: 842例

定点当たりの報告数(3.85)

- | | | | |
|--------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 大分県: 8.36 | 4. 熊本県: 5.73 | 7. 福岡県: 5.11 | 10. 山口県: 4.86 |
| 2. 福井県: 6.68 | 5. 石川県: 5.59 | 8. 富山県: 5.07 | 11. 山形県: 4.75 |
| 3. 宮崎県: 6.33 | 6. 鳥取県: 5.42 | 9. 兵庫県: 4.93 | 12. 三重県: 4.73 |

③手足口病

報告数

1. 東京都: 703例
2. 埼玉県: 660例
3. 千葉県: 561例

定点当たりの報告数(2.75)

- | | | | |
|---------------|--------------|--------------|---------------|
| 1. 鹿児島県: 7.04 | 4. 山形県: 5.64 | 7. 宮崎県: 4.69 | 10. 熊本県: 4.43 |
| 2. 沖縄県: 6.81 | 5. 長野県: 5.15 | 8. 栃木県: 4.52 | 11. 埼玉県: 4.05 |
| 3. 岩手県: 6.43 | 6. 愛媛県: 5.14 | 9. 千葉県: 4.45 | 12. 宮城県: 3.98 |

今週の感染症動向

インフルエンザは1万例超えの大幅増加で2万例を突破した。定点当たりの報告数(4.86)は沖縄県を除く46都道府県で前週から増加し、前週(2.36)から大幅に増えた。地域別に見ると、先週に引き続いて福岡県(11.43)が突出して多い。感染性胃腸炎は2,000例以上増加し、1万例を超えた。手足口病は7週連続で減少し、1万例を割り込んだ。定点当たりの報告数(2.75)が警報レベル(5.00)にある県も6県に減少。一方、過去5年間の同時期の平均と比べるとかなり多い状況が続いている。マイコプラズマ肺炎は2週連続で減少したが、報告数は昨年同週(34例)の30倍以上であり、例年と比べてもかなり多い。伝染性紅斑は埼玉県(3.49)、東京都(3.02)、神奈川県(2.17)、千葉県(2.10)が警報レベル(2.00)にある。COVID-19は7週ぶりに1万例を超えた。定点当たりの報告数(2.42)は、秋田県(9.51)、岩手県(8.21)、北海道(7.64)、青森県(5.28)と北日本での流行が続いている。今冬の動向が注視される。